

整形外科

● スタッフ（平成28年10月1日現在）

診療部長 山本 謙吾
 医局長 田中 英俊
 病棟医長 松岡 佑嗣
 外来医長 立岩 俊之

医師数 常勤 28名
 非常勤 9名

● 診療科の特色・診療対象疾患

1. 特色

- 1) 脊椎疾患、関節疾患、スポーツ、外傷、腫瘍などの広範囲な疾患に対し、各分野の専門スタッフが診断や治療に当たります。治療については、患者さんに十分な説明を行い、病態をご理解頂いた上で、保存治療、手術治療（内視鏡手術を含む）、薬物・化学療法など、その患者さんにとって最善の治療が選択できるように心がけています。
- 2) 侵襲的検査や手術を行う際には、インフォームドコンセントを十分に行い、患者様とご家族の同意を得てから実施しています。
 医局全体として、毎日朝午前8時より、前日に実施した手術症例の報告および術前症例検討を行っています。また、毎週水曜日は午前7時30分より重症症例カンファレンスや医局全体会議を行なっています。
- 3) 急速に進行する高齢化社会に対応すべく、骨粗鬆症治療や予防医学についても積極的に取り組んでいます。

2. 主な対象疾患

（脊椎疾患）

頰椎症、頰椎椎間板ヘルニア、首下がり症、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、脊椎靱帯骨化症、化膿性脊椎炎、斜頸、側弯症、後弯症、脊椎骨折、脊椎脊髄腫瘍、など

（関節疾患）

変形性膝関節症、変形性股関節症、変形性足関節症、関節リウマチ、大腿骨頭壊死、血友病性関節症、変形性肩関節症、肩腱板損傷、上肢・手外科、足の外科（外反母趾）など

（スポーツ外傷）

膝靱帯・半月板損傷、筋筋膜損傷、軟骨損傷、股関節唇損傷、など

（一般外傷・腫瘍）

各種骨折・脱臼・靱帯腱損傷、四肢体幹部軟部腫瘍、骨腫瘍、など

● 診療体制と実績

1) 外来

初診は毎日午前中、再診・紹介は午前から午後まで受け付けています。

脊椎、関節、スポーツ、外傷、腫瘍、の各専門外来を設けており、最先端の高度な医療が提供できるように努めています。

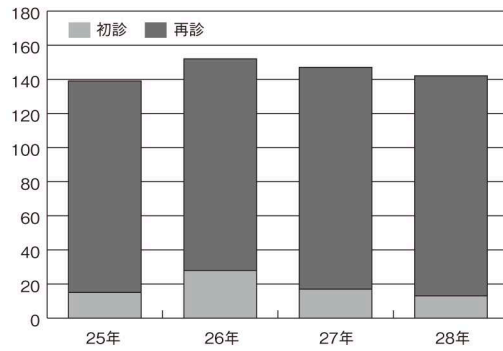


図1 1日平均外来患者数の推移

2) 入院

整形外科の規定病床数は72床ですが、常に90%以上の稼働率を保っています。

人工関節置換術や脊柱管狭窄症、膝内視鏡手術など、定型疾患の入院・手術治療では、全てパスを導入しており、患者さんにとっても効率的でわかりやすい治療を行っています。

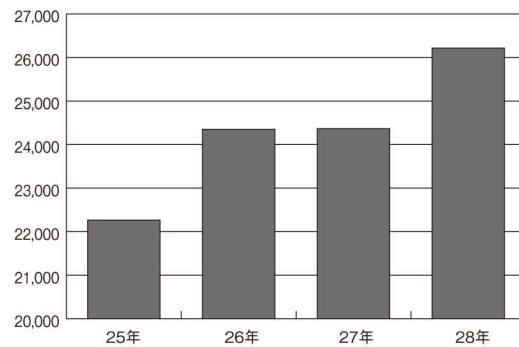


図2 入院患者数の推移

3) 手術

手術については、平成26年度より、上肢外科・腫瘍専門の教授が就任したこともあり、外傷・腫瘍例を主体に手術症例が著しく増加しています。人工関節置換術や脊柱管狭窄症などの従来からの変性疾患の手術も同様に行われており、全体の手術数は著明に増加しています。

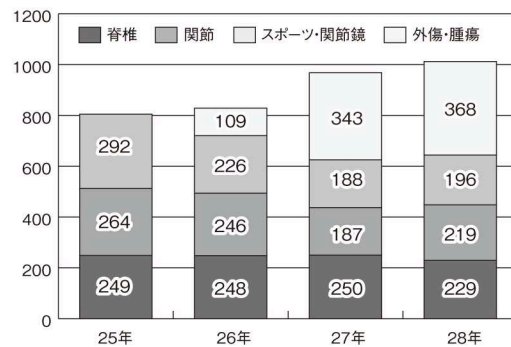


図3 手術数の分野別推移

平成28年度手術例内訳	1,012例
人工膝関節置換術	77例
人工股関節置換術	95例
腰部脊柱管狭窄症	103例
頰椎症	78例
関節鏡手術（膝・股）	135例
手・上肢外科	227例
腫瘍	62例
その他	235例